

令和2年度「妊産婦に関する調査」調査票等(案)及びフォローアップ調査(追跡調査)調査票等(案)について

資料掲載順

No	内 容		掲載頁
1	「妊産婦に関する調査」	調査票(案) 設問項目 前年度(令和元年度調査)と同様 変 更 点 調査年度に関連する部分と、対象者の母子健康手帳交付期間のみ	⑤-2
2		お知らせ(案) 調査票送付時に同封	⑤-6
3		リーフレット(案) 調査票送付時に同封	⑤-7
4	「妊産婦に関する調査」 フォローアップ調査 (追跡調査)	調査票(案)	⑤-9
5		リーフレット(案) 調査票送付時に同封	⑤-12

78000xxxxxx

県民健康調査 妊産婦に関する調査 調査票

〒123-4567
福島県福島市光が丘1

医大花子 様



オンライン用
整理番号:
220xxxxxx
アクセスキー:
xxxxxx

オンライン回答サイト: <http://fukushima-mimamori.jp/20nimpu>

- 本調査票は、各市町村で母子健康手帳(以下、母子手帳)を交付時に登録された情報を基に発送しています。
 - 設問にはお子様の生後1か月の発育についてお答えいただくものがございます。ご回答は、お子様の1か月児健診が終了してからお願いいたします。
 - 回答方法は、調査票の返送、またはオンライン回答のいずれかのご都合のよい方法をお選びください。ご本人が回答できない場合は、家族の方や同居されている方がご回答ください。
 - ご回答いただいた内容等により、専任の助産師等からお電話をさせていただきます。また、電話やメールを通してのご相談等も受け付けていますので、ぜひ、ご利用ください。
- 以下にご記入後、次のページからの質問にご回答ください。

ふりがな	生年月日			
氏名	<input type="checkbox"/> 昭	<input type="checkbox"/> 平	成	日
TEL	例：024-549-5180		携帯番号 例：090-xxxx-xxxx	
<small>住所に変更があった方や、医療機関にて調査票を配布された方は住所のご記入をお願いします。調査結果の報告等にて使用させていただきます。</small>				
住所	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ふりがな	<input type="text"/>			

福島県・福島県立医科大学

令和元年8月1日～令和2年7月31日に母子手帳を交付された方に
お尋ねしています。
必要事項をご記入いただき、あてはまる口に✓をつけてください。

ご記入日： 令和 年 月 日	回答者： <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 代理 (続柄)
-------------------	--

問1. 母子手帳の交付年月日、交付市区町村名をご記入ください。

令和 年 月 日 母子手帳交付： _____ 市・区
町・村

問2. あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？ (✓はひとつ)

非常に健康だと思う まあ健康な方だと思う
 あまり健康ではない 健康ではない

問3. 今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか？ (✓はひとつ)

とてもそう思う そう思う
 どちらともいえない そう思わない 全くそう思わない

問4. 1) ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

はい いいえ (✓はひとつ)

2) ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？

はい いいえ (✓はひとつ)

問5. 現在避難生活をしていますか？ (✓はひとつ)

現在避難中で仮設住宅で生活している
 現在避難中で仮設住宅以外の場所で生活している
 避難生活をしていて時期があるが現在は自宅で生活している
 避難していたことはない

「1」または「2」と答えた方のみにお尋ねいたします。
避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか？

はい いいえ (✓はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。家族とコミュニケーションがとれていますか？

はい いいえ どちらともいえない (✓はひとつ)

問6. ふだん、どなたと同居していますか？(里帰り中の方は、ふだんの状況で選んでください)
当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 一人暮らし(同居している人はいない)
 夫またはパートナー 子ども (今回出産された子どもを含む)
 義理または実父母 その他 (具体的に：)

問7. 喫煙についてお尋ねします。あなたご自身の喫煙についてお答えください。

- 1) 今回の妊娠届を出すまでに、あなたはタバコを吸っていましたか？(✓はひとつ)
 吸ったことはない 今回の妊娠に気づく前に止めた
 今回の妊娠に気づいて止めた 吸っていた
- 2) 今回の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか？(✓はひとつ)
 吸っていません 吸っていた
- 3) 現在、あなたはタバコを吸っていますか？(✓はひとつ)
 吸っていません 吸っている

問8. 今回の調査対象となる(令和元年8月1日から令和2年7月31日の期間に母子手帳の交付を受けた)

分娩(出産・死産を含む)は、一人(単胎)ですか？二人(ふたご)ですか？

- 一人 (単胎) 二人 (ふたご)

問9. 今回の調査対象の妊娠についてお答えください。

妊娠様式	<input type="checkbox"/> 自然妊娠 <input type="checkbox"/> 排卵誘発 <input type="checkbox"/> 人工授精 <input type="checkbox"/> 体外受精
分娩予定日	令和 年 月 日
妊 娠 結 果	
<input type="checkbox"/> 出産 <input type="checkbox"/> 流産 <input type="checkbox"/> 中絶 <input type="checkbox"/> 死産	妊娠終了時の年月日 令和 年 月 日 () 週
<input type="checkbox"/> 出産 <input type="checkbox"/> 流産 <input type="checkbox"/> 中絶 <input type="checkbox"/> 死産	妊娠期間 (妊娠週数) () 週

ふたごの場合には2人目に関して下記をご記入ください。

出産 流産 中絶 死産
 令和 年 月 日 () 週

この期間内に母子手帳を複数回交付された方は、別途、調査票をお送りさせていただきますので、
妊産婦専用ダイヤル(024-549-5180 平日 9:00~17:00)へご連絡ください。

- (参考1) 妊娠1か月：妊娠0週～妊娠3週 妊娠2か月：妊娠4週～妊娠7週
 妊娠3か月：妊娠8週～妊娠11週 妊娠4か月：妊娠12週～妊娠15週
 妊娠5か月：妊娠16週～妊娠19週 妊娠6か月：妊娠20週～妊娠23週
 妊娠7か月：妊娠24週～妊娠27週 妊娠8か月：妊娠28週～妊娠31週
 妊娠9か月：妊娠32週～妊娠35週 妊娠10か月：妊娠36週～妊娠39週
 妊娠11か月：妊娠40週～妊娠43週
- (参考2) 出産：妊娠22週以降での生児の娩出 流産：妊娠22週未満の妊娠の終了
 中絶：妊娠22週未満の人工的妊娠の終了 死産：妊娠22週以降での子宮内で亡くなった胎児の娩出とします。

問10. 今までの妊娠歴(今回の妊娠を除く)についてお尋ねいたします。

※問9でご回答いただいた「今回の調査対象の妊娠」は除いてお答えください。

- 1) 今まで流産の経験はございますか？ 2) 今まで中絶の経験はございますか？
 はい いいえ (✓はひとつ) はい いいえ (✓はひとつ)
- 3) 今まで死産の経験はございますか？ 4) 今まで出産の経験はございますか？
 はい いいえ (✓はひとつ) はい いいえ (✓はひとつ)
- 5) 今までふたごの出産の経験はございますか？(流産・死産を含む)
 はい いいえ (✓はひとつ)

問11. あなたには、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか？

- はい いいえ (✓はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

以下に挙げる病名のうち、当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 高血圧 糖尿病 高脂血症 がん (悪性腫瘍)
 脳の疾患 (脳卒中、てんかんなど) 神経・筋疾患 (重症筋無力症など)
 精神疾患 (うつ病、統合失調症など) 甲状腺疾患
 心臓病 (心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など)
 呼吸器の疾患 (肺炎、喘息(ぜんそく)など) 肝臓の病気 (慢性肝炎など)
 腸の病気 膠原病 (SLE (全身性エリテマトーデス) など)
 他のアレルギー性疾患 (アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など)
 感染症 (結核など) 血液の疾患 (特発性血小板減少症など)
 その他 (具体的に：)

問12. 今回の妊娠中にあなたに告げられた病気・状態がありましたか？

- はい いいえ (✓はひとつ)

「はい」と答えた方のみにお尋ねいたします。

具体的な病気・状態について当てはまるすべての□に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)

- 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 前置胎盤 切迫流産
 切迫早産 自然流産 早産 不眠、不安などの精神的問題
 肺炎・インフルエンザ・破傷風などの感染症 羊水過多
 羊水過少 血栓症 (エコミークラス症候群)・肺塞栓症
 脳卒中 (脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など)
 外傷 その他 (具体的に：)

問15、問16は出産された方にお尋ねいたします。出産されていない方は、問17にお進みください。

問15. 育児に自信がもてないことがありますか？

はい いいえ 何ともいえない はい(ひとつ)

問16. 1か月児健診(お子様の生後1か月の発育)に関してご記入ください。(母子手帳等ご参照ください)

ふたごの場合には2人目の記入欄	
(令和) 年 月 日 実施	(令和) 年 月 日 実施
生後 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	生後 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
体重: <input type="text"/> g	体重: <input type="text"/> g
身長: <input type="text"/> cm	身長: <input type="text"/> cm
に1か月健診を受診	
に1か月健診を受診	

問17. 次の妊娠・出産をお考えですか？

はい いいえ
 はい いいえ

「はい」と答えただ方のみにお尋ねいたします。

次の妊娠・出産に関する事で、あったらよいと思っっているサービスなどは次のうちどれですか？**当てはまるすべての口に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)**

産休・育児休暇などの充実
 保育所・延長保育・病児保育などの拡充
 育児や小児医療に関する情報やサービス
 放射線と健康リスクに関する情報
 その他

「いいえ」と答えただ方のみにお尋ねいたします。

その理由は次のどれに当てはまりますか？**当てはまるすべての口に✓をご記入ください。(✓はいくつでも)**

希望していない
 収入が不安定なため
 家事・育児の協力がいないため
 保育所など子どもの預け先がないため
 今いる子どもに手がかかるため
 避難生活をしているため
 家族と離れて生活しているため
 年齢や健康上の理由のため
 放射線の影響が心配なため
 その他

問13、問14は、分娩された方にお尋ねいたします。

妊娠12週未満の方は、問17にお進みください。以下は出産されていない方には、大変申し訳ございませんが、わかる範囲でご記入ください。

問13. 妊娠何週何日で分娩しましたか？

妊娠 () 週 () 日

(✓はひとつ)

自然分娩 (分娩誘発剤使用を含む) 吸引・鉗子分娩 帝王切開で分娩

(✓はひとつ)

自然分娩 (分娩誘発剤使用を含む) 吸引・鉗子分娩 帝王切開で分娩

<ふたごの場合には2人目に関して下記をご記入ください。>

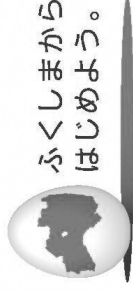
問14. 分娩時のお子様についてご記入ください。(母子手帳等ご参照ください)

ふたごの場合には2人目の記入欄	
性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	性別: <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
体重: <input type="text"/> g	体重: <input type="text"/> g
身長: <input type="text"/> cm	身長: <input type="text"/> cm
胸囲: <input type="text"/> cm	胸囲: <input type="text"/> cm
頭囲: <input type="text"/> cm	頭囲: <input type="text"/> cm
新生児仮死	新生児仮死
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (✓はひとつ) <input checked="" type="checkbox"/> 「あり」の場合、蘇生を (✓はひとつ) <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった <input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (✓はひとつ) <input checked="" type="checkbox"/> 「あり」の場合、蘇生を (✓はひとつ) <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった <input type="checkbox"/> わからない
先天奇形・先天異常	先天奇形・先天異常
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (✓はひとつ) <input checked="" type="checkbox"/> 「あり」の場合、詳細をご記入ください。 (✓はいくつでも) <input type="checkbox"/> 白内障 <input type="checkbox"/> 心臓奇形 <input type="checkbox"/> 腎臓・尿路奇形 <input type="checkbox"/> 二分脊椎 (背中に穴が開いている病気) <input type="checkbox"/> 小頭症 <input type="checkbox"/> 水頭症 <input type="checkbox"/> 口唇・口蓋裂 <input type="checkbox"/> 消化管 (食道・十二指腸・空腸・回腸) 閉鎖 <input type="checkbox"/> 鎖肛 <input type="checkbox"/> 多指・合指症 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (✓はひとつ) <input checked="" type="checkbox"/> 「あり」の場合、詳細をご記入ください。 (✓はいくつでも) <input type="checkbox"/> 白内障 <input type="checkbox"/> 心臓奇形 <input type="checkbox"/> 腎臓・尿路奇形 <input type="checkbox"/> 二分脊椎 (背中に穴が開いている病気) <input type="checkbox"/> 小頭症 <input type="checkbox"/> 水頭症 <input type="checkbox"/> 口唇・口蓋裂 <input type="checkbox"/> 消化管 (食道・十二指腸・空腸・回腸) 閉鎖 <input type="checkbox"/> 鎖肛 <input type="checkbox"/> 多指・合指症 <input type="checkbox"/> その他

78000xxxxxx

本調査についてのご意見、ご要望、またはご自身の体調や育児の心配などございましたら、以下の自由記載欄にご記入ください。

県民健康調査



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

福島県・福島県立医科大学

これで質問はすべて終わりです。

本調査票は、お子様の1か月児健診の結果までご記入いただいた後に、返信用封筒に入れてご提出ください。

電話やメールを通しての妊娠や子育てについてのご相談等も受け付けています。

ぜひ、ご利用ください。ご協力ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

妊産婦調査専用ダイヤル

電話：024-549-5180

(平日 9:00~17:00)

メール：nimpu@fmu.ac.jp

福島県の妊産婦のみなさん、体調はいかがでしょう

福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査の一環として「妊産婦に関する調査」を実施しています。目的や対象者等の詳細は、下記をご覧ください。

なお、福島県立医科大学では、妊娠の最終結果やご出産の情報を完全に入手することができないため、本調査票等が届きましたことでご不快な思いをされた方には心よりお詫び申し上げます。

～妊産婦の皆さんのこころや身体の状態を把握するため、本調査にご協力ください～

調査の目的

妊産婦の皆さまのこころや身体の状態を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、今後の福島県内の産婦人科医療の充実へつなげていくことを目的としています。

調査対象の方

令和元年8月1日から令和2年7月31日までに

①福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方

→交付時に登録された情報を基に調査票を送付しています。

②福島県外の市区町村から母子健康手帳を交付された方の中で、
いわゆる里帰り出産された方

→県内産科医療機関を通じ、本調査へのご協力をお願いしています。

回答の方法

～ご出産後、1か月児健診を受けた後で、ご回答下さい～

「調査票の返送」または「オンライン回答」のいずれかご都合のよい方法で。

※オンライン回答は、期間中はインターネットにより、パソコンやスマートフォンから好きな時間に回答できます。(詳細は別紙をご参照ください)

※ご回答は任意です。回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。

その他

◇ご回答内容に基づいて、助産師、保健師等から連絡させていただく場合があります。

◇妊娠、出産、育児などについて、専任の助産師、保健師等による電話相談も受けつけています。専門的な内容のご相談には、医師が対応いたします。

下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。



◆「妊産婦に関する調査」専用お問い合わせ先◆

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

電話 024-549-5180 (平日 9:00～17:00)

メール nimpu@fmu.ac.jp

◇ 調査へのご意見を含め、皆さまの生の声をお聞かせ下さい。

◇ 皆さまのご協力により、充実したケアへつながりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

<個人情報の取り扱いについて> 本調査に関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、調査への回答や結果、回答にもとづく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表(統計処理等)をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

子育て中のお母さんとそばにいる方へ

産後のお母さんのからだが、元の状態に戻るには1年ほどかかります。特に産後2か月間は、ホルモンが大きく変化し、赤ちゃんとの生活のペースがつかめずイライラしたり落ち込んだりします。お母さんの心が不安定な時期に、つい頑張らずぎて疲れをためてしまうこともあります。産後のお母さんにとって、周りのサポートは大変心強いものです。言葉かけたり、聞き役に寄り添ったりすること、お母さんの心を安定させることにつながります。

ご相談・支援について

調査の回答内容から、支援が必要と思われる方には専任の助産師・保健師等からご連絡いたします。また、電話やメールを通して不安や悩みに関するご相談も受け付けています。下記お問い合わせ先までご連絡ください。



妊産婦調査専用ダイヤル：024-549-5180
(平日9:00~17:00)
妊産婦調査専用メール：nimpu@fmu.ac.jp

子育て等に関する福島県のサービス(令和元年度)

ふくしまの赤ちゃん電話健康相談（一般社団法人福島助産師会）
福島県助産師会では、育児に関する無料相談や、母乳の放射性物質の検査、子育てサロン、家庭訪問、母乳育児支援（母乳トラブル等）、産後ケア・日帰りケアも行っています。ご利用ください。

0120-80-2051（平日9:30~16:30）

福島県子ども救急電話相談（子どもの夜間の急な発熱など）
・短縮ダイヤル（固定電話ブツシュ回線・携帯電話）#8000
・一般ダイヤル回線 024-521-3790

福島県内の屋内遊び場について（福島県 ことども・青少年政策課）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21055a/okunai-ichiran.html>

県内子育て支援（ままカフェ）（ふくしま子ども支援センター）

<http://ccscd.beans-fukushima.or.jp/info-cat/pref-parent/>

おじいちゃん・おばあちゃんのための育児サポートガイド（いくつかの市町村で作成しています）

<例> 添育て手帳（福島市）

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/kseisaku-boshi/kosodate/kosodate/shien/documents/magosodate.pdf>

女性のミカタ 健康サポートコール（福島県 子育て支援課）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/119556.pdf>



令和2年度「妊産婦に関する調査」リリースレポート(案)

リリースレポートについては、令和元年度内容をベースに見直しを行い、令和2年度調査発送時に同封する予定である。

調査の目的

妊産婦
このころ身体の健康状態を把握します

中でケアが必要な方をサポートします

産科・産科助産師の充実に活かします

調査の概要

調査対象の方

主な調査項目

- ・妊産婦のこころの健康
- ・現在の生活、育児状況
- ・妊産婦の出産の経過
- ・次回妊娠に対する意識

本調査
妊娠届け出
約1年後

調査票の送付

お電話・メールでご相談

お電話・メールでご相談

フォローアップ調査

フォローアップ調査 調査票の送付

お電話・メールでご相談

- 1回目（出産4年後）：平成23～26年度の調査に回答いただいた方に、平成27～30年度に実施
- 2回目（出産8年後）：平成23年度調査に回答いただいた方に、令和元年度に実施

令和元年度調査対象者

- 本調査
 - ① 平成30年8月1日から令和元年7月31日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
 - ② 上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県内で里帰り出産された方
- フォローアップ調査（2回目）
平成23年度調査に回答いただいた方

調査対象者数とご回答数

調査年度	対象者	ご回答数	ご回答率
平成23年度	1万6001人	9316人	58.2%
平成24年度	1万4516人	7181人	49.5%
平成25年度	1万5218人	7260人	47.7%
平成26年度	1万5125人	7132人	47.2%
平成27年度	1万4572人	7031人	48.3%
平成28年度	1万4154人	7326人	51.8%
平成29年度	1万3552人	6449人	47.6%
平成30年度※	1万2830人	5715人	44.5%

対象者	ご回答数
7252人	2554人 (35.2%)
5602人	2021人 (36.1%)
5734人	2706人 (47.2%)
5856人	2704人 (46.2%)

※令和元年6月30日現在
出産約4年後にフォローアップ調査を実施

これまでの調査結果から

これまでの調査結果から分かかったことをお伝えします。なお、最新の結果はホームページに掲載しております。

※令和元年6月30日現在のデータです。

回答して下さった方の半分以上が、これからも妊娠・出産を希望しています。

「次回の妊娠・出産をお考えですか？」

「はい」と答えた方

全国調査		本調査			
年度	割合	年度	割合	年度	割合
平成22年度	51.0%	平成24年度	52.9%	平成25年度	52.8%
平成23年度	51.0%	平成26年度	57.1%	平成27年度	53.3%
平成24年度	52.9%	平成28年度	54.6%	平成29年度	52.4%
平成25年度	52.8%	平成29年度	54.6%	平成30年度*	52.5%

全国調査：「平成22年第14回出生動向基本調査(結婚10年未満で子どもを予定している割合(既子どもが1人いる場合))



「はい」の方で希望が多かったサービス
(平成30年度*)

- 1位 保育の充実
- 2位 産休・育休等の充実
- 3位 育児、小児医療に関する情報やサービス

早産率、低出生体重児率、先天奇形率は、全国調査の値や一般的な水準と変わっていません。

年度	早産率 (%)		低出生体重児率 (%)		先天奇形・先天異常発生率 (%)	
	本調査	全国調査	本調査	全国調査	本調査	一般的な水準
平成23年度	4.8	5.7	8.9	9.6	2.85	
平成24年度	5.7	5.7	9.6	9.6	2.39	
平成25年度	5.4	5.8	9.9	9.6	2.35	
平成26年度	5.4	5.7	10.1	9.5	2.30	3~5
平成27年度	5.8	5.6	9.8	9.5	2.24	(2017産科診療ガイドラインより)
平成28年度	5.4	5.6	9.5	9.4	2.55	
平成29年度	5.4	5.7	9.4	9.4	2.38	
平成30年度*	5.1	—	9.1	—	2.21	

全国調査：人口動態統計における年単位の割合
早産：妊娠22週から37週未満で生まれた赤ちゃん
低出生体重児：2500gより小さく生まれた赤ちゃん

うつ傾向は減ってきています。

●うつ傾向

年度	本調査	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度*
2023年度	27.1%	25.5%	24.5%	23.4%	22.0%	21.1%	20.7%	18.5%

●フクロアザブ調査(平成23年度調査結果)に比べて平成24年度に減少

●フクロアザブ調査(平成24年度調査結果)に比べて平成25年度に増加

●フクロアザブ調査(平成25年度調査結果)に比べて平成26年度に減少

●フクロアザブ調査(平成26年度調査結果)に比べて平成27年度に増加

●フクロアザブ調査(平成28年度調査結果)に比べて平成29年度に減少

●フクロアザブ調査(平成29年度調査結果)に比べて平成30年度に増加

妊婦中から医療施設と市町村との連絡体系ができて、病院で産後うつ健診も始まりました。

主な電話相談内容

平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度*

1位	放射線の母体への影響	母親のこころや身体への影響	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連	子育て関連
2位	放射線の心配や影響 <td>母親のこころや身体への影響 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td></td></td>	母親のこころや身体への影響 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 </td>	子育て関連
3位	放射線の子どもへの影響 <td>母親のこころや身体への影響 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td></td></td>	母親のこころや身体への影響 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 <td>子育て関連 </td></td>	子育て関連 <td>子育て関連 </td>	子育て関連

※調査内容：「子育て関連」の具体的な内容は、離乳食、夜泣き、便秘、予防接種など

Q 子どもの肌が乾燥したり赤れたりします。お手入れの方法を教えてください。

A やちんの皮膚は大人と違い、バリア機能が弱く乾燥しやすいのでよくトランプを記します。清潔と保湿を心がけましょう。清潔にするためには、石鹸の泡をたっぷりつけた手で丁寧に洗う、しっかりとすすぐことが大切です。石鹸で洗った後は、ぬれ肌を乾かす前に保湿剤を塗る。保湿剤を塗る時は、肌をこすらないようにすることが基本です。

Q 母乳食の進め方や注意点を教えてください。

A 母乳食は、5~6か月頃からはじめ、1歳半頃までに赤ちゃんの消化吸収に合わせて、自分で食べる力を育てていきます。アレルギーマスクのないお米(米)から始めて、だんだん食品の種類を増やしていきましょう。新しい食品は少しずつ与え、うんちの色やかたさ、発疹が出ないかなど様子を見ましょう。はちみつは乳児死やリステリア症を予防するため、1歳まで使いません。

Q 平成24年4月2日以降に生まれた子どもは甲狀腺検査をしないのですか？

A 甲狀腺がんの発生に変わるのは放射性ヨウ素です。放射性ヨウ素は事故後1か月で水、食べ物、空気の中からほとんどなくなり、その後減衰されています。このため、事故後に検査されたお子さんでは検査は不要です。

Q 上の子のやまきちで、毎日イライラしてしまします。どうすればよいでしょうか？

A 上のお子さんの心が成長する過程でやまきちをやくことがあり、推しがむずかしいこともありますが、赤ちゃんの上の子がどちらでも愛されている安心感を感じることが大切です。「あなたも大切な子なのよ」ということが伝わるよう、下の子が成長した時は上の子とじっくり遊ばせ、定期的に上のお子さんとの関わりを大切にしましょう。また、新には「一時預かり」「ファミリー・サポート・センター」「子育て世代包括支援センター」などを利用して、周りの人たちの力を借りることも大切です。

Q 子どもの外遊びや食べ物への放射線の影響が心配です。

A 現在の放射線量は、心配するレベルではありません。また、食料検査は放射線量を測定して安全が確認された後に流通しています。水道水も定期的に検査があり、現在食品や水道水からは検出されていません。別荘地帯は、市町村や県(ふくしま復興ステーション)を通じて、各自治体もしくは妊産婦調査専用ダイヤル(024-549-5180)にご相談ください。

調査について

福島 妊産婦調査

http://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/



○ 令和2年度フォローアップ調査(追跡調査)調査について

令和2年度調査においては、平成24年度調査回答者への2回目のフォローアップ（及び支援）を実施し、震災時に妊産婦であった方々の継続的な支援を行う。

1 経緯

妊産婦調査では、震災時の調査回答者は、特にうつ傾向の割合が高かったことから、育児に自信が無いと感じる母親が増加する時期の出産4年後にあたる平成27年度(平成23年度調査回答者)から平成30年度(平成26年度調査回答者)まで1回目フォローアップ調査を実施してきた。

平成23・24年度調査回答者は、放射線に関する不安が強く、うつ傾向が高い状態であり、フォローアップ調査でも同様の傾向がみられたため震災時の影響が懸念された。一方、平成25・26年度調査回答者は、育児に関する一般的な悩みが多く、フォローアップ調査では、うつ傾向の割合が減少していた。このことから、令和元年度調査からは、平成27年度調査回答者に対する4年後のフォローアップ調査を行うことに替え、平成23年度調査回答者への2回目のフォローアップ（及び支援）を実施し、震災時に妊産婦であった方々の継続的な支援を行っている。令和2年度においても、同様に平成24年度調査回答者に対し2回目フォローアップ調査を実施する。

2 対象者

平成24年度調査の回答者（流産、中絶、死産を除く）のうち、市町村への照会により母子ともに生存が確認された方

3 実施方法

調 査 票：自記式調査票（ハガキ）

調査回答方法：調査票の返送またはオンライン回答

4 調査票（案）

設 問 項 目：前年度(令和元年度フォローアップ調査)と同様

変 更 点：調査年度に関連する部分と、対象となる出産期間のみ

「平成24年度妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方へ
 出産後8年目アンケートのお願い

このハガキは、平成24年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方（平成23年8月1日～平成25年4月23日までにご出産された方）を対象として、市町村からご住所の情報提供を受けてご連絡させていただいております。

【お問い合わせ先】
 放射線医学県民健康管理センター
 専用ダイヤル：024-549-5180
 （平日 9:00～17:00）
 メール：nimpu@fmu.ac.jp
 【お問い合わせ用 整理番号】


福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査「妊産婦に関する調査」を毎年行っています。皆さまには平成24年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただきありがとうございました。調査の結果から、震災前後に産まれた方たちに不安をかかえている方が多いことがわかり、さらに平成28年度に実施した産後4年目の追加調査でも、支援を必要とされる方が多いことがわかりました。

また、お子さまが大きくなるにつれ、新たな悩みが出てくることもあります。そのため、出産後8年経った皆さまのこころと身体の健康状態の経過を伺い、不安の軽減や必要なケアの提供のお手伝いできればと考えております。今回、過去に妊産婦調査で得たご本人様の情報を基に、ご連絡させていただいております。ご回答いただいた内容により、専任の保健師、臨床心理士等からお電話させていただく場合がございます。回答は任意です。回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。

（調査結果の詳細は当センターのホームページに掲載しています。http://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/）

A、B どちらかご都合のよい方法で、ご回答いただけます。

A ハガキの郵送



下のキリトリ線に従ってハガキを切り離しポスト等に投函してください。

B オンライン回答



①直接アクセス（スマホなど）
 右の二次元コードを読み込んでください。
 整理番号とアクセスキーの入力は不要です。
 または、
 ②下記の URL を入力してアクセスし、オンライン用整理番号とアクセスキーを入力してください。
<http://fukushima-mimamori.jp/20nimpu>

オンライン用整理番号
 アクセスキー

以下の質問に対して、右の回答欄の当てはまる□に✓してください。

（質問）

- ①あなたはふだんで自分で健康だと思いますか？
 - ②ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？
 - ③ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？
 - ④子育てに自信がもてないことがありますか？
 - ⑤放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。
- 以下の⑥は平成23年8月1日～平成25年4月23日の間に生まれたお子様についてお尋ねいたします。
- ⑥お子様はこれまでに入院された病気はありましたか？
 - ⑦お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

ご回答ありがとうございました。

アンケートの送り方は裏面をご参照いただき、保護シールを貼付し、投函してください。

キリトリ線

フリガナ 回答者氏名	【お問い合わせ用 整理番号】 □本人 □代理（親柄）
（回答）	※ お子様的人数と一冊下のお子様の年齢を教えてください。 お子様的人数（ ）人 一冊下のお子様の年齢（ ）歳（ ）カ月
① □非常に健康だと思う □まあ健康な方だと思う □あまり健康ではない □健康ではない	この調査についてのご意見、ご要望又はご自身の体調や子育ての心配事など、ご自由にお書きください。
② □はい □いいえ	
③ □はい □いいえ	
④ □はい □いいえ □何ともいえない	
⑤ □水 □食品 □子どもの健康 □偏見 □その他の（ ）	
⑥ □はい（病名：） □いいえ	
⑦ □こころと身体の発達 □病気 □生活習慣 □学校生活 □その他の（ ）	
※住所に変更がございましたら、ご記入ください。	
〒 市 区 町 村	〒 市 区 町 村
電話番号（ ）	つながりやすい時間帯 □午前 9:00～12:00 □昼休み 12:00～13:00 □午後 13:00～17:00
携帯電話番号（ ）	

※この回答内容により専任の保健師等からお電話させていただく場合がございます。日中、ご連絡がとれる電話番号をご記入ください。


キリトリ線

郵便はがき

9601290

福島市光が丘一番地

福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター 行



キリトリ線

県民健康調査

福島県・福島県立医科大学

〒960-1295 福島市光が丘1
公立大学法人 福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター
お問い合わせ先 TEL 024-549-5180

「平成24年度妊産婦に関する調査」に
ご回答いただいた方へ
出産後8年目アンケートのお願い

科金受取人払郵便

福島中央局
承 認
3085

差出有効期間
令和3年12月
3日まで

左右を両面印刷し、三つ折りにし
封書で発送。
回答は、はがきをキリトリ、保護用紙
を貼付し返送。

<個人情報の取り扱いについて>

本アンケートに関する個人情報は、県民健康調査において使用する
ほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。
また、アンケートへの回答や結果、回答にもとづく支援内容等につい
ては、学術的研究目的の利用及び公表（統計処理等）をしますが、個
人が特定される形で公表することはありません。

アンケートの送り方

- 1  キリトリ線に沿ってはがきを切り離してください。
- 2  はがきの記入欄に必要な事項を記入してください。
- 3  封筒のシールをはがきの裏面に貼り付けて記入欄が見えないようにしてください。
- 4  そのほか郵便局へお出しください。

ご自身の健康管理のための相談先はお持ちですか？

体調はお変わりないですか？子育て期の母親は自分自身のことがおろそかになりがちですが、そんな時期だからこそ休養と健康管理が大切です。ご自身のためにも、家族のためにも、健康診断を受けることやかかりつけ医を持つことをお勧めします。

参考：月刊 母子保健, 2017年12月号

ご相談・支援について

調査の回答内容から、支援が必要と思われる方には専任の助産師・保健師等からご連絡いたします。また、電話やメールを通して不安や悩みに関するご相談も受け付けています。下記お問い合わせ先までご連絡ください。



福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター

妊娠調査専用ダイヤル：024-549-5180
(平日9:00~17:00)
妊娠調査専用メール：nimpu@fmu.ac.jp

相談先一覧

- 女性の心身の健康に関する相談
 - ・女性のミカタ健康サポートコール (月～金 9:00～17:00 (祝祭日を除く))
- 妊娠・出産・育児に関するさまざまな相談
 - ・子育て世代包括支援センター
- 精神的な悩みや心の健康に関する相談
 - ・こころの電話 (福島県精神保健福祉センター) 電話 024-535-5560 (月～金 9:00～17:00)
- いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話
 - ・ダイヤル SOS 福島県教育センター 電話 0120-453-141 (月～金 10:00～17:00)
- 子どものための24時間電話相談
 - ・ふくしま24時間子どもSOS 電話 0120-916-024 (24時間)
- ひきこもり・不登校・いじめ・進路・ニート・発達・非行などの相談
 - ・福島県青少年総合相談センター ・福島県ひきこもり支援センター
電話 024-546-0006 (火～土 9:30～17:30) メール soudan-fukushima@gaea.ocn.ne.jp
- 障がい等に関する教育相談
 - ・特別支援教育センター 電話 024-951-5598 (月～金 9:00～17:00)
- 発達に関する相談
 - ・福島県発達障がい者支援センター 電話 024-951-0352 (月～金 8:30～17:00)

令和2年度フォローアップ調査 (追跡調査) リーフレット

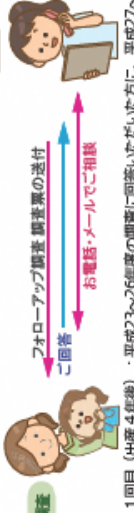
リーフレットについては、令和元年度内容をベースに見直しを行い、令和2年度フォローアップ調査(追跡調査)発送時に同封する予定である。



調査の概要

調査対象の方

主な調査項目
・妊娠時の生活、育児状況
・妊産婦の経過
・次回妊娠に対する意識



1回目 (出産4年後) : 平成23～26年度の調査に回答いただいた方に、平成27～30年度に実施
2回目 (出産8年後) : 平成23年度の調査に回答いただいた方に、令和元年度に実施

令和元年度調査対象者

- 本調査
 - ① 平成30年8月1日から令和元年7月31日に福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
 - ② 上記期間に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県内で里帰り出産された方
- フォローアップ調査 (2回目)
平成23年度調査に回答いただいた方

調査対象者数とご回答数

調査年度	対象者	ご回答数
平成23年度	1万6001人	9316人 (58.2%)
平成24年度	1万4516人	7181人 (49.5%)
平成25年度	1万5218人	7260人 (47.7%)
平成26年度	1万5125人	7132人 (47.2%)
平成27年度	1万4572人	7031人 (48.3%)
平成28年度	1万4154人	7326人 (51.8%)
平成29年度	1万3552人	6449人 (47.6%)
平成30年度※	1万2830人	5715人 (44.5%)

※令和元年6月30日現在

出産約4年後にフォローアップ調査を実施

対象者	ご回答数
7252人	2554人 (35.2%)
5602人	2021人 (36.1%)
5734人	2706人 (47.2%)
5856人	2704人 (46.2%)

